

東北ブナ紀行（79）

奥田 博

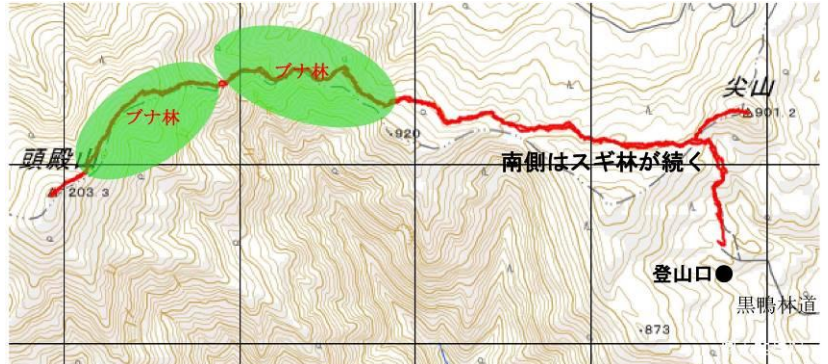
大朝日連峰の展望台として知られる頭殿山。中間地点から山頂付近まで続くブナ林は見事。天狗山は信仰の山だが、中間部に建つ護摩堂から山頂までは、ブナ林が点在することは知られていない。

1 2 2) 頭殿山（とうどのさん）1203m

頭殿山の名は、どこにあるかは知られていない。大朝日岳から以東岳へ続く最も古い道で、米沢藩から鶴岡藩に抜ける軍道が頭殿山を越えて現在の朝日鉱泉から大朝日岳に登られた。深田久弥も、頭殿山の北面を通って大朝日岳に登っているという。しかし朝日鉱泉近くまで車道が開かれると、次第に使われなくなってしまった。

悪路の見本のような長い林道の最奥に登山口がある。ここから前半の行程は杉林が続く。展望の尖山に寄りて、ひたすら西に向かう。道は尾根の北側を通っている。やがて今までの苦労が報われるほどの素晴らしいブナ林が現れる。山頂からの展望も絶品でした。

コースタイム：登山口（1時間50分）山頂（1時間20分）登山口

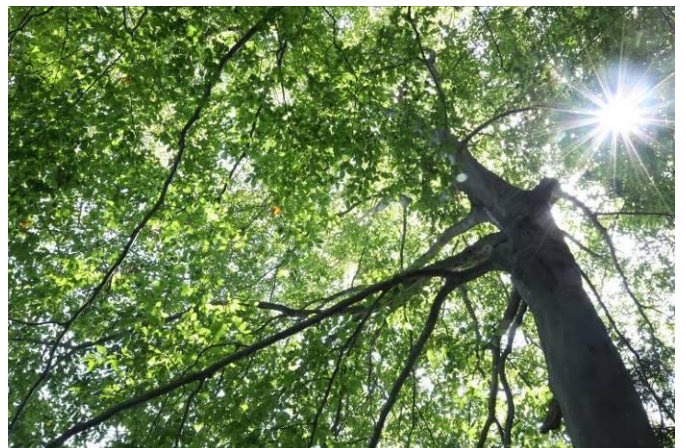


1 2 3) 天狗山 612m

天狗山は全国各地にある。白河市の天狗山は早春の花で有名。この飯豊町の天狗山は、長井市寄りの低い山だ。低い山なのに小白川地区には大きな鳥居が建っている。山麓から山頂は目立たないが、二荒山古峰神社の奥ノ院へたどる修験場であり、足場の悪い沢や滝の通過があり、それを窺わせる。

中腹の護摩堂には立派な神社が建ち、この先にはみそぎ場である清冽な水場が現れる。ここから本格的な登りに差し掛かり、尾根に上がるまでの間ブナが素晴らしい。大黒様に始まって、神様が15箇所現れるのも楽しい。頂上直下には、岩場の下に乳母権現が祀られる。昔は女性禁制の山であったので、ここから戻ったのだろうか。岩場を越えてたどり着いた山頂からは大展望が得られた。

コースタイム：登山口（50分）護摩堂（30分）山頂（20分）護摩堂・林道歩き（50分）登山口



頭殿山頂が近付くと黄葉が始まったブナにオオカメノキが彩を添える 天狗山のブナは護摩堂を過ぎると現れ、まるで聖域に入